

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社きもと(略称 KIMOTO) 上場取引所 東
 コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 木本 和伸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長(氏名) 安田 茂 (TEL) 03-3350-4701
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,752	△8.7	1,217	3.5	1,108	3.7	612	13.2
23年3月期第3四半期	18,357	9.2	1,175	244.4	1,069	199.2	540	127.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 372百万円(22.2%) 23年3月期第3四半期 304百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	22.96	—
23年3月期第3四半期	20.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,167	18,478	68.0
23年3月期	27,679	18,319	66.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3半期 18,478百万円 23年3月期 18,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△5.2	1,850	20.6	1,700	12.2	880	5.5	32.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	27,386,282株	23年3月期	27,386,282株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	710,912株	23年3月期	710,868株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	26,675,392株	23年3月期3Q	26,675,425株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により予想等と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(6) 重要な後発事象	P. 10
4. 補足情報	P. 10
(販売の状況)	P. 10

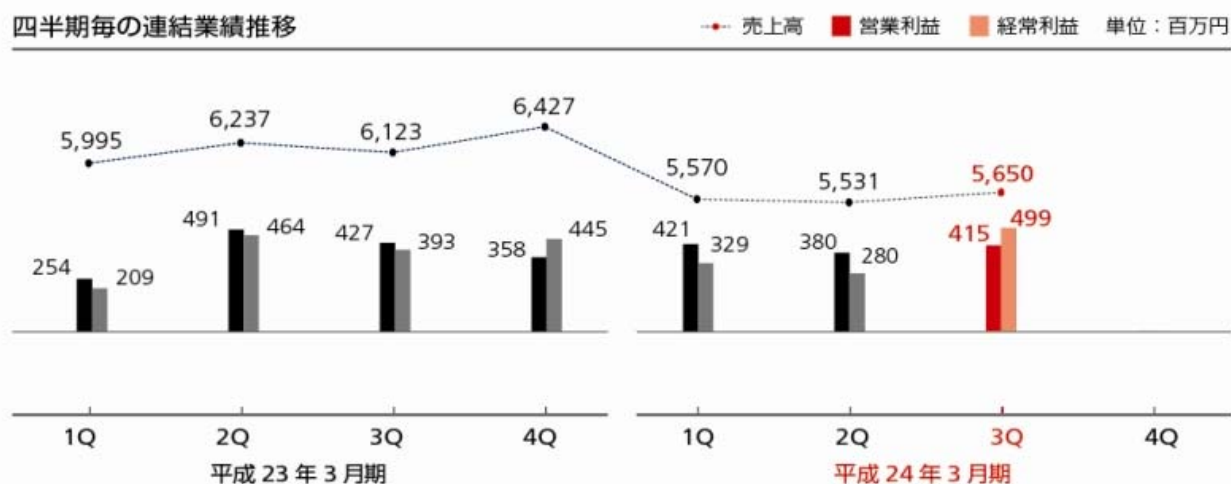
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第三次中期経営計画に基づき、タッチパネル用ハードコートフィルムを中心としたフラットパネルディスプレイ向け製品を戦略製品と位置付け、その開発と販売に注力してまいりました。営業面においては、エレクトロニクス製品の世界的な製造拠点である東アジア地域をターゲットとして積極的な営業を展開いたしました。また、グループを挙げた経費削減を継続し、経営効率のさらなる改善を進めています。

タッチパネル用ハードコートフィルムは、スマートフォン、タブレットPC向けに高付加価値品が増加しました。また、工程用保護フィルムはタッチパネル製造業向けに大幅に伸び、デジタルカメラ向け光学遮光フィルムも堅調に推移しましたが、液晶バックライト用フィルムの販売が減少したことに加え、仕入商品販売を減少させたことにより減収となりました。利益面では、高付加価値品の増加や経費削減効果により増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,752百万円（前年同四半期比8.7%減）、営業利益は1,217百万円（同3.5%増）、経常利益は1,108百万円（同3.7%増）、四半期純利益は612百万円（同13.2%増）となりました。



セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 日本

主力製品であるタッチパネル用ハードコートフィルムは、スマートフォン、タブレットPC向けに高付加価値品を中心に堅調に推移しました。また、工程用保護フィルムはタッチパネル製造業向けに大幅に伸び、デジタルカメラ向け光学遮光フィルムも堅調に推移しましたが、仕入商品販売を減少させたことにより減収となりました。利益面では、高付加価値品の増加や経費削減効果により営業利益は増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は15,016百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益は1,252百万円（同3.0%増）となりました。

② 北米

アジア向けの売上は堅調に推移しましたが、米国内の売上が大きく減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は955百万円（前年同四半期比28.0%減）、営業損失は59百万円（前年同四半期の営業損失は3百万円）となりました。

③ 東アジア

工程用粘着フィルムの販売が大幅に伸びたことで売上が増加しましたが、地理情報サービスの受注が大きく減少したことにより減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は443百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益は47百万円（同4.7%減）となりました。

④ 欧州

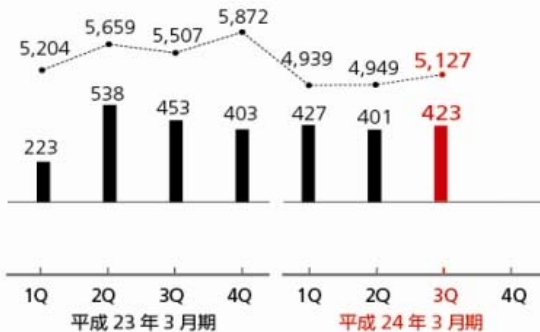
中小型インクジェットプリンターの販売は不調でしたが、液晶バックライト用部材加工の受注が伸びたことにより売上が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は336百万円（前年同四半期比22.5%増）、営業損失は46百万円（前年同四半期の営業損失は102百万円）となりました。

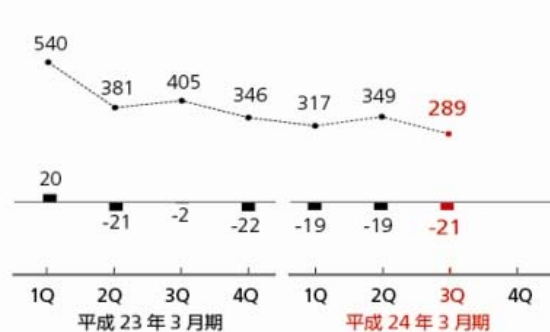
四半期毎のセグメント別業績推移

●売上高 ■営業利益 単位：百万円

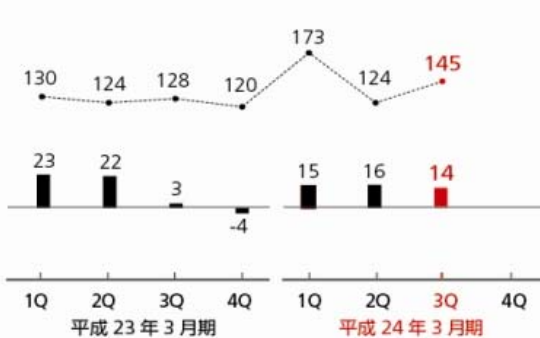
日本



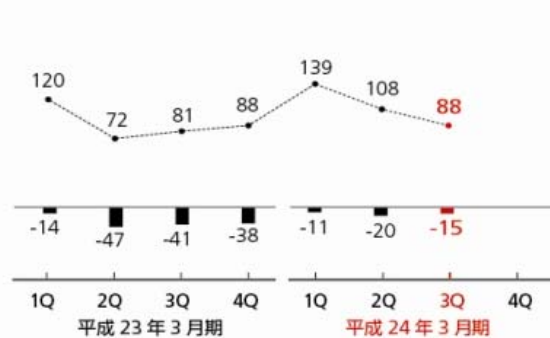
北米



東アジア



欧州



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、27,167百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加416百万円、棚卸資産の増加420百万円、有価証券の減少300百万円、有形固定資産の減少748百万円、投資有価証券の減少225百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ671百万円減少し、8,688百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加437百万円、退職給付引当金の増加126百万円、未払法人税等の減少735百万円、賞与引当金の減少205百万円、長期借入金の減少235百万円であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、18,478百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加399百万円、その他有価証券評価差額金の減少34百万円、為替換算調整勘定の減少205百万円であります。これらの結果、自己資本比率は68.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月27日付の平成24年3月期第2四半期決算短信で発表しました通期（平成24年3月期）の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,185	8,601
受取手形及び売掛金	6,436	6,419
有価証券	300	—
商品及び製品	659	719
仕掛品	692	881
原材料及び貯蔵品	397	569
繰延税金資産	281	279
その他	145	199
貸倒引当金	△41	△50
流動資産合計	17,056	17,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,168	3,766
機械装置及び運搬具（純額）	1,788	1,536
土地	1,411	1,285
建設仮勘定	28	109
その他	246	196
有形固定資産合計	7,643	6,894
無形固定資産		
ソフトウェア	195	113
その他	43	42
無形固定資産合計	238	156
投資その他の資産		
投資有価証券	1,725	1,500
繰延税金資産	493	458
長期預金	300	300
その他	279	310
貸倒引当金	△57	△73
投資その他の資産合計	2,741	2,496
固定資産合計	10,623	9,547
資産合計	27,679	27,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,833	4,270
1年内償還予定の社債	135	110
1年内返済予定の長期借入金	391	391
未払法人税等	753	17
賞与引当金	402	197
役員賞与引当金	9	6
その他	1,018	1,035
流動負債合計	6,544	6,030
固定負債		
社債	62	20
長期借入金	1,166	930
退職給付引当金	1,499	1,626
長期預り金	59	60
その他	28	21
固定負債合計	2,816	2,658
負債合計	9,360	8,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	12,296	12,695
自己株式	△313	△313
株主資本合計	18,685	19,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	114
為替換算調整勘定	△514	△720
その他の包括利益累計額合計	△365	△605
純資産合計	18,319	18,478
負債純資産合計	27,679	27,167

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	18,357	16,752
売上原価	13,306	11,965
売上総利益	5,050	4,786
販売費及び一般管理費	3,874	3,569
営業利益	1,175	1,217
営業外収益		
受取利息	18	17
受取配当金	6	6
物品売却益	27	39
その他	89	34
営業外収益合計	141	98
営業外費用		
支払利息	27	21
為替差損	215	179
その他	4	5
営業外費用合計	248	206
経常利益	1,069	1,108
特別利益		
固定資産売却益	0	16
貸倒引当金戻入額	1	—
投資有価証券売却益	15	7
ゴルフ会員権売却益	20	—
補助金収入	117	62
子会社清算益	6	—
特別利益合計	160	86
特別損失		
固定資産売却損	0	85
固定資産廃棄損	7	2
投資有価証券売却損	2	0
投資有価証券評価損	139	62
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
特別損失合計	157	150
税金等調整前四半期純利益	1,071	1,045
法人税等	531	432
少数株主損益調整前四半期純利益	540	612
四半期純利益	540	612
少数株主損益調整前四半期純利益	540	612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△34
為替換算調整勘定	△195	△205
その他の包括利益合計	△235	△239
四半期包括利益	304	372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304	372
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	東アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,371	1,327	383	275	18,357	—	18,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	776	110	92	0	979	△979	—
計	17,147	1,437	476	275	19,336	△979	18,357
セグメント利益又は損失(△)	1,216	△3	49	△102	1,159	16	1,175

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去等15百万円、棚卸資産の調整額1百万円です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	日本	北米	東アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,016	955	443	336	16,752	—	16,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	704	86	52	0	845	△845	—
計	15,721	1,042	495	337	17,597	△845	16,752
セグメント利益又は損失(△)	1,252	△59	47	△46	1,193	23	1,217

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去等23百万円、棚卸資産の調整額0百万円です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(販売の状況)

事業区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
	外部への売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部への売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)
電子・工業材料	13,347	17.5	12,670	△5.1
グラフィックス	3,032	△5.3	2,587	△14.7
産業メディア	1,593	△14.3	1,375	△13.7
情報システム	383	△1.0	119	△68.8
合 計	18,357	9.2	16,752	△8.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。